



シロチドリ



平成29年6月15日発行

「第16回在宅医療連携事例検討会」が開催されました

「社協の生活支援の取り組みについて」

荒尾市社会福祉協議会

課長補佐 平川 喜晴



平成29年4月5日（水）「第16回在宅医療連携事例検討会」が開催され関係団体より61名の参加がありました。

今回は荒尾市社会福祉協議会より、高齢者を中心とした生活支援のこれまでの取り組みとこれから予定している取り組みについての事例を発表しました。

まず始めに、いきいきサロン等を中心とした約15年にわたる社会福祉協議会における地域福祉活動の紹介を行い、現在は約50ヶ所でサロンや買い物支援等のささえあい活動が地域で実施されている事をご紹介しました。

また、「生活支援ボランティア」の取り組みについて平成28年度に在宅ネットあらかと共催で、生活支援ボランティア養成講座を実施しました。

5日間、全10講座を受講して頂いた方々に、ボランティアの登録をお願いし、現時点で42名の方に登録して頂きました。

今後は、登録されているボランティアを活用した生活支援ボランティアの制度を8月より開始する予定にしています。現在は、立ち上げの準備を進めていて、5月には「生活支援ボランティア養成講座」を受講された方を中心にフォローアップ講座と制度説明会の開催、6月には、井手川地区の住民を対象としたボランティアと高齢者とのマッチングの試行と運用の検証、さらに9月には第2回の「生活支援ボランティア養成講座」の開催など、これから行われる事業の一連の流れについて説明をし、事例発表を終了しました。

荒尾市社会福祉協議会では、引き続き地域包括ケアシステムの構築に向けてささえあい活動推進地区と生活支援ボランティアの仕組みの2つの事業をメインに取り組みを進め、住民ニーズに即した生活支援の在り方を考えていきますので、今後も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

引き続き、「第2期生活支援ボランティア養成講座」について、荒尾市医師会、中村光成先生より、在宅医療における多職種協働体制を支えるボランティア体制の構築というテーマで、発表して頂きました。

「第1期生活支援ボランティア養成講座」の実績と課題、第2期養成講座の目的、実施概要、講座内容(案)についてお話しをして頂き、皆様からのご意見を募られました。



平成29年度「荒尾市在宅医療連携室運営委員会総会」が開催されました

平成29年5月17日（水）荒尾市医師会館にて、平成29年度荒尾市在宅医療連携室「在宅ネットあらか」運営委員会総会が開催されました。

荒尾市高齢者支援課の片山課長の司会で開会し、始めに当委員会の運営委員長である藤瀬隆司医師会長にご挨拶を頂きました。引き続き規約に基づき、藤瀬委員長に議長をお願いし議事の進行をして頂きました。

- ▲議事
- ①平成28年度事業報告：全会一致で承認
 - ②平成28年度決算報告：全会一致で承認
会計監査報告：田中みどり監事より報告
 - ③平成29年度事業計画（案）：全会一致で承認
 - ④平成29年度予算（案）：全会一致で承認
- 26名の出席者で、審議が行われました。

運営委員一部交代

- 熊本県有明保健所：前川香織様（総務福祉課、主幹）
- 荒尾市グループホーム連絡会：八坂妙子様（白寿園グループホーム長）
- 有明地域リハビリ広域支援センター：北尾昌平様（有明成仁病院PT）
- 荒尾市役所：原口富美様（福祉課、係長）

お忙しい中、ご出席頂きました運営委員の皆様、ありがとうございました。

「第2期生活支援ボランティア養成講座」開催についてお知らせ

平成29年9月1日から隔週金曜日の計5回「第2期生活支援ボランティア養成講座」を開催致します。

日時：9月1日・9月15日・9月29日・10月13日・10月27日
13時から15時30分（予定）

場所：荒尾市医師会館会議室

講座内容：専門研修と一般研修の2本立てで、1日2コマ・全10コマを予定しています。

◇荒尾市民の方を対象に、7月1日から8月16日までポスター・回覧板・広報・社協便り等で週知し受講生を募集致します。

荒尾市在宅医療連携室 在宅ネットあらか
 荒尾市宮内 1092-18(荒尾市医師会敷地内)
 TEL:0968-57-9350 FAX:0968-57-9605
<http://zaitaku.arao-med.or.jp>
 ホームページにも載せておりますのでご覧ください

担当：青木

